

# やさいレポート（令和6年2月号）



# トマト



発行日：令和6年2月6日

## 1. 卸売価格の動向

○387 円/kg（2月3日）

➢ 平年比：101%

○2月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

## 2. 小売価格の動向

○600 円/kg（1月全国平均）

➢ 前月比：77%、平年比：99%

➢ 東京：338 円（4玉）

➢ 大阪：98 円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：9/20（前月5/20）

➢ 大阪：6/10（前月3/10）

（機構調べ）

## 3. 家計消費動向

○238 g/人（12月全国平均）

➢ 前月比：126%

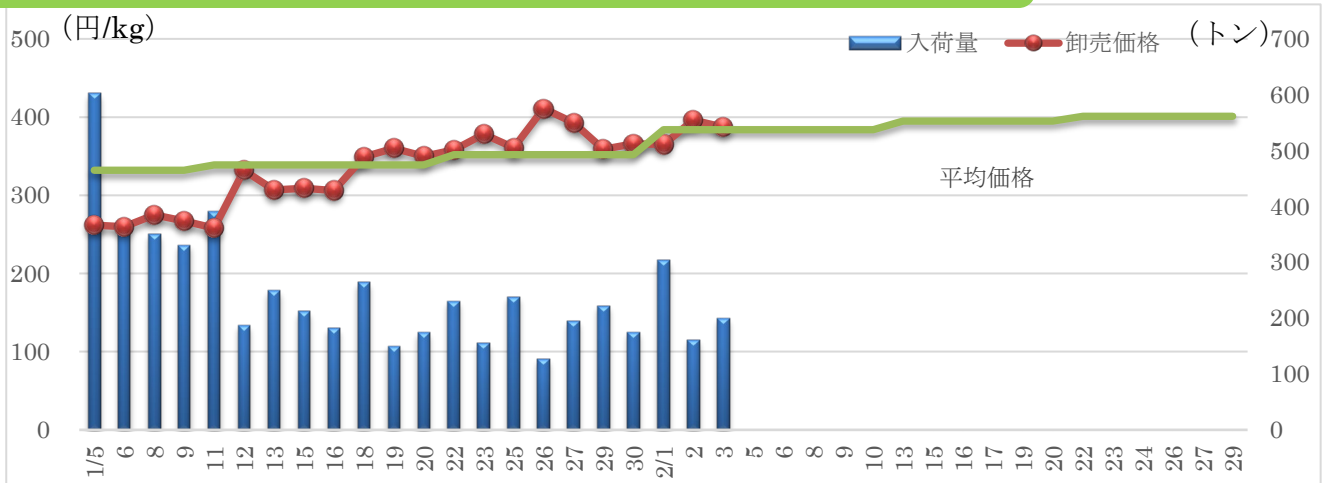
➢ 前年同月比：100%

○3,783 g/人（2022 年年間）

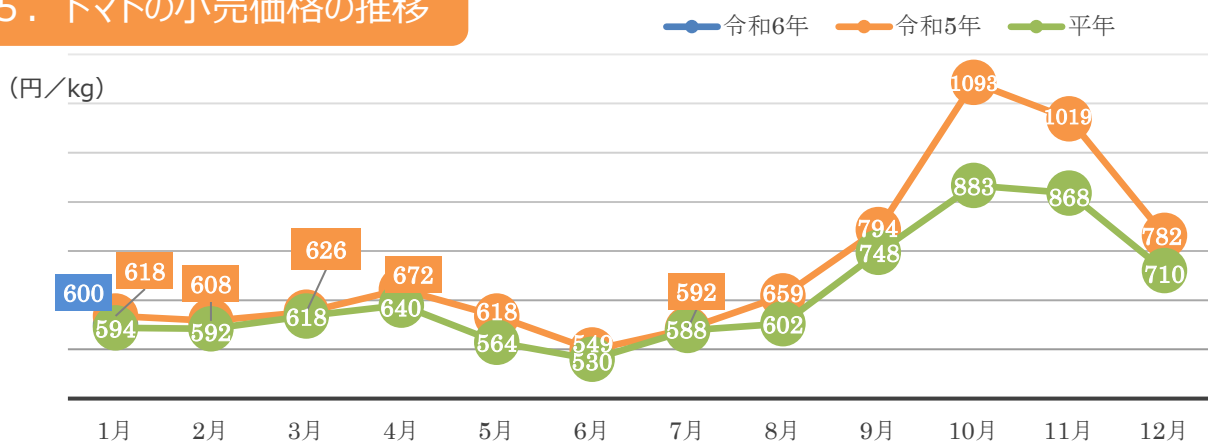
➢ 前年比：93%

（総務省統計局家計調査）

## 4. トマトの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. トマトの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
静岡県小笠 (大玉) (1/23)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県志太棒原 (大玉) (12/21)	前年並み	平年並み ～やや不良	平年並み	平年並み
静岡県三島 (ミニ) (1/31)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県磐田 (大玉) (12/5)	減少	やや不良	平年並み	平年並み
愛知県豊橋市 (12/22)	減少	やや良	平年並み	遅い
三重県桑名市長島町 (12/15)	前年並み	やや不良 ～不良	平年並み	平年並み
大分県竹田市 (11/16)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



愛知県豊橋市：ハウス内の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (02/03~03/01)

		週別の天候		
2/03~2/09	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
2/10~2/16	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
2/17~3/01	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
	平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)	
北日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並30 多50% 多い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並が少ない見込み

(気象庁 1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮トマト)

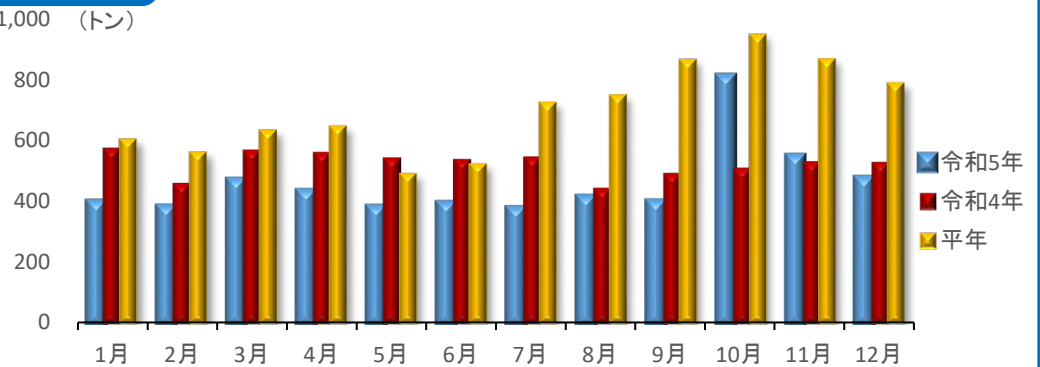
○477トン (12月輸入量) 1,000 (トン)

➤ 前年同月比：91%

○輸入先国ベスト3

- 1位 韓国 221トン
- 2位 NZ 186トン
- 3位 メキシコ 53トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

1月は、気温高により着果、肥大が前進化していた栃木産、千葉産、愛知産、熊本産などの入荷量が上旬に増加したことから、価格は中旬まで平年を下回っていたもの、下旬には前進化の影響で入荷量が減少したことから、価格は平年を上回ってきました。

2月は、栃木産、千葉産、愛知産、熊本産などの入荷量が安定することから、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。  
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>  
＜問い合わせ先＞

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793